

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号 4 - 3
作成年月日 H24. 7. 31
事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 沙留海水浴場管理委託事業

事業開始年度 平成20年度 住民参加 ☒ 有 関係例規・法令名
事業終了年度 平成24年度 住民協働 ☐ 無 関係個別計画名

会計区分 一般会計 款 7. 商工費 項 1. 商工費 目 2. 観光費

担当 課 産業振興課 担当係名 水産商工係 調書作成者職氏名 課長補佐 推名 徹

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 146

分類	コード	名称
基本目標	5	環境を守る“まちづくり”
施策項目	27	自然資源の活用による観光振興
単位施策	1	既存施設を活用した拠点整備の推進

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 興部町観光協会へ業務委託している。
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 ・海水浴場維持管理～海の家管理人、海水浴客監視人、周辺環境整備 ・野営場等臨海休養施設維持管理～コテージ2棟、炊事棟、トイレ棟等管理清掃
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 昨年の評価により継続（縮小）と判断されたことから、施設（海の家・売店等）の老朽化や砂浜の浸食等の対応について、最低限の費用により可能な限り利用継続ができるよう、効率的・効果的な方法により、観光施設としての存続を図る。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1			目標値 実績値						
2			目標値 実績値						
3			目標値 実績値						
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区分	19年度 決算	20年度 決算	21年度 決算	22年度 決算	23年度 決算	24年度 予算	20～24年度 合計
事業費(千円)	0	1,620	1,620	1,620	1,930	2,100	8,890
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源		1,620	1,620	1,620	1,930	2,100	8,890

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☐ (2) 公共性が高い事業である。 ☐ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☒	・オホーツク海で数少ない海水浴場であり、町内の主要な観光施設としてこれまでも位置づけられてきていることから、最小限の維持費用を充当して、施設が使用可能な限り維持すべきである。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☒	・来場者による経済効果はそれほど期待できない。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	・施設の安全性を維持できない状況に達しない限りは、現状施設を最低限維持管理しながら、継続すべきである。 ・遊泳（海水浴場）施設としての存続については、今後の検討が必要である。 （キャンプ場、コテージの利用のみとし、遊泳をさせないことで、監視人、海の家管理等のあり方を検討するなど）
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☐ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☒ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	・現在の業務委託のほかに、指定管理者制度による管理とすることも可能性がある。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☒ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	・コテージの利用者については、リピーター等が多い。 ・キャンプ場としての利用者は例年一定程度の利用がある。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【縮 小】	現状で施設が使用可能な限りは現状維持にて継続する。ただし、大規模な改修や新規投資は原則行わない。
二 次 評 価	継 続 【縮 小】	海水浴場施設として維持できる内は、現状のまま最小限の維持管理で継続すべきであるので、一次評価のとおりとする。

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
継 続 【縮 小】	一次評価のとおり現状のまま最小限の維持管理で継続する。

☆ 評 価

- (1) 継 続【現状維持】⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続【拡 充】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続【縮 小】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続【統 合】⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの